

### 最近の県内景況

## 緩やかに回復している

### 概況

**国内景気**は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。県内景況をみると、個人消費が底堅く推移しており、「緩やかに回復している」の判断を据え置いた。食品やエネルギー価格の上昇が個人消費に及ぼす影響を懸念している。

**生産** 1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、100.3(前月比5.9%低下)と前月を下回った。

**個人消費(小売商況・自動車)** 2月の小売商況は、うるう年だった前年より営業日が1日少なかったものの、節分やバレンタイン需要、インバウンド客の増加、店頭価格の上昇から全体の売上げは前年比増加した。家電は、冷蔵庫、掃除機、パソコンなど新生活関連商品の需要が好調で、総じては前年をやや上回った。自動車販売は、登録台数(含む軽)は前年比26.6%増の2,286台となった。

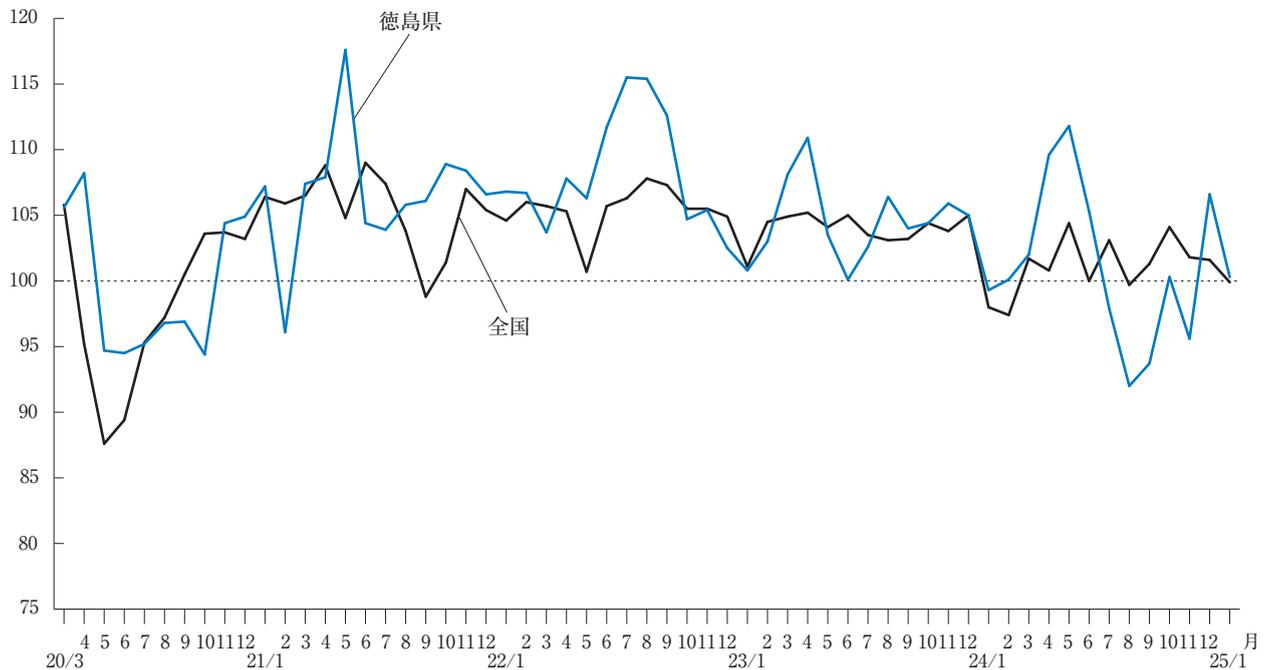
**旅行・宿泊** 2月の国内旅行は、関西方面への日帰り旅行や航空機をチャーターした旅行がみられた。物価上昇による単価の上昇で取扱高は前年を上回った。海外旅行は、徳島阿波おどり空港から韓国への需要があり、取扱高は前年を上回った。宿泊は、香港、韓国定期便の影響でインバウンド需要が増加し、全体として前年を上回って推移した。

**住宅投資** 2月の新設住宅着工戸数(総戸数)は、前年比39.7%減の152戸となった。(2025年1～2月の総戸数累計は、前年同期比13.1%減の333戸となった。)

**公共工事** 2月の請負件数は、前年比8.2%増、請負金額は同1.8%増となった。(2024年4～2025年2月の請負金額累計は、前年同期比1.3%増の1,206億59百万円となった。)

**雇用情勢** 2月の有効求人倍率(季節調整済)は、1.14倍で前月比0.02ポイント上昇した。

## 鉱工業生産指数（徳島県、全国）



(2020年=100 季節調整済指数)

## 徳島県(1月)

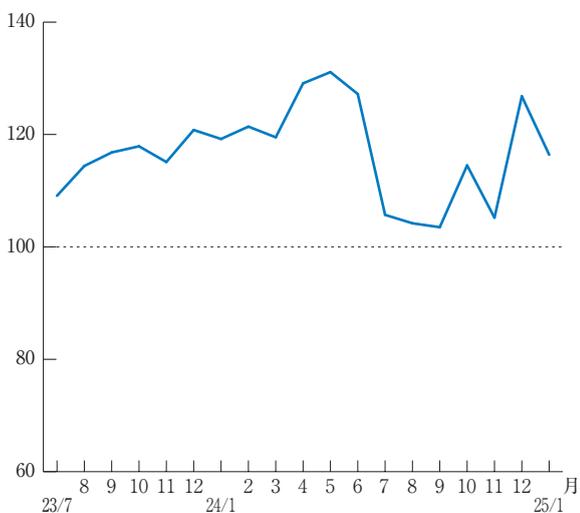
徳島県の1月(速報値)の鉱工業生産指数は、100.3(季節調整済)で前月比5.9%減少、原指数は93.7で前年比1.0%増加となった。

季節調整済指数の内訳をみると、前月比で上昇したのは全15業種のうち6業種で、はん用・生産用・業務用機械(41.2%)、金属製品(6.5%)、窯業・土石製品(3.7%)など。一方、低下した業種は、電気機械(16.7%)、家具(8.3%)、化学(8.2%)、パルプ・紙・紙加工品(5.4%)など。

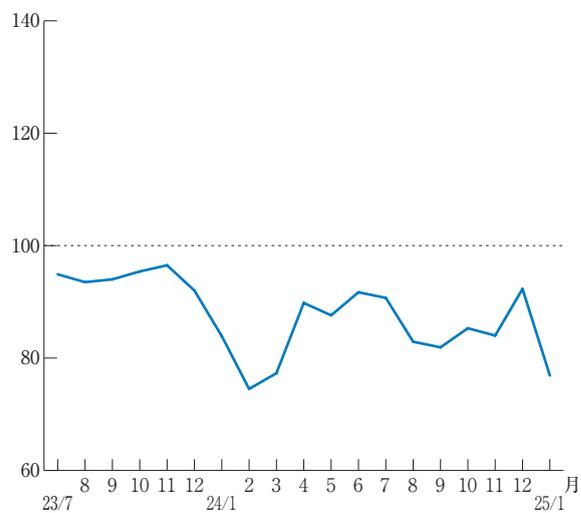
原指数の内訳をみると、前年比で上昇したのは全15業種のうち9業種で、はん用・生産用・業務用機械(64.8%)、金属製品(13.0%)、家具(11.1%)、プラスチック製品(8.3%)など。一方、低下した業種は、電気機械(8.3%)、化学(2.3%)、窯業・土石製品(2.0%)など。

業種別鉱工業生産指数 (カッコ内数字は、全体を 10,000 としたウエイト) (2020年=100 季節調整済指数)

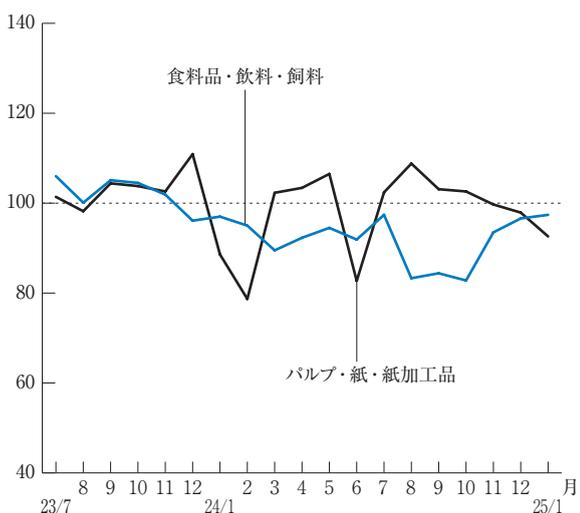
化学 (4,332.7)



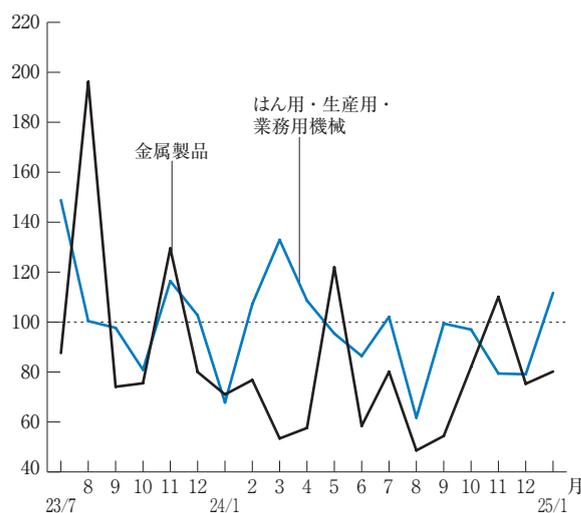
電気機械 (2,153.6)



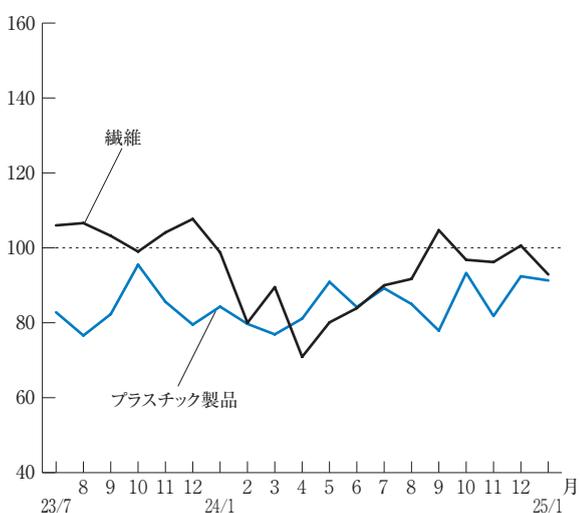
食料品・飲料・飼料 (620.1)  
パルプ・紙・紙加工品 (577.7)



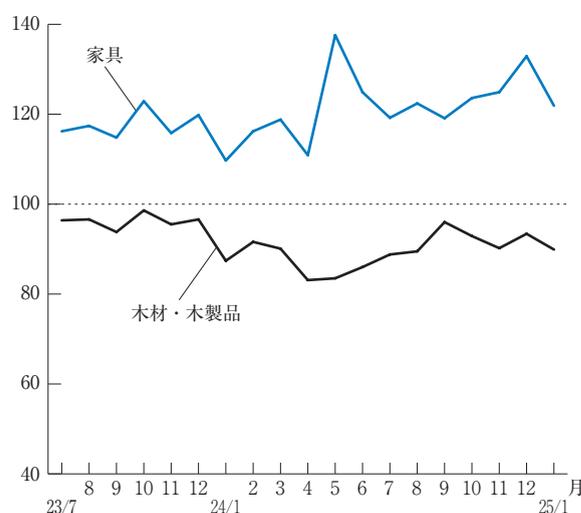
はん用・生産用・業務用機械 (473.5)  
金属製品 (395.7)



プラスチック製品 (346.7)、繊維 (65.6)

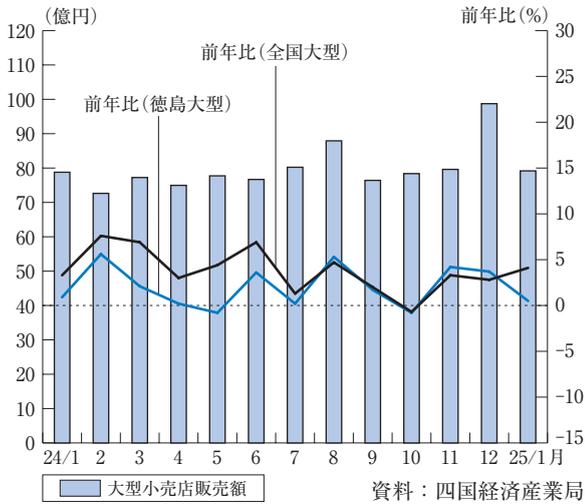


木材・木製品 (172.1)、家具 (197.4)



資料：徳島県統計課

## 大型小売店・専門量販店販売額



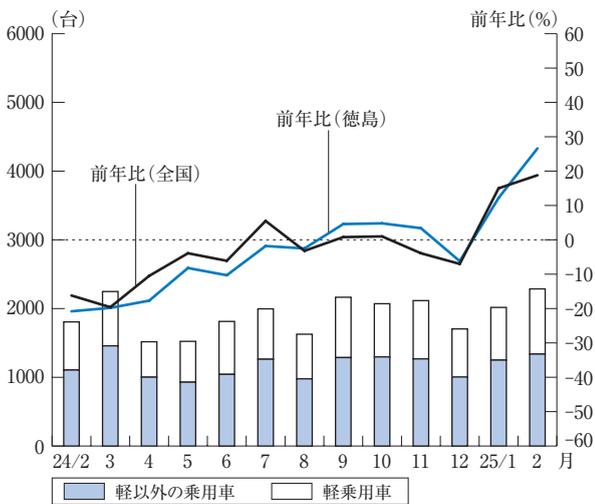
2月の小売商況は、うるう年だった前年より営業日が1日少なかったものの、節分やバレンタイン需要、インバウンド客の増加、店頭価格の上昇から全体の売上げは前年比増加した。

品目別にみると、衣料品は子供の学校行事用が動いた。身の回り品・雑貨は、眼鏡に加えて花粉症関連商品が動き始めた。サービスは美容を中心に利用された。飲食は、物価上昇の影響で来店頻度が減少したものの、仕入れ価格のメニュー価格への転嫁で前年を上回った。家電は冷蔵庫、掃除機、パソコンなど新生活関連商品の需要が好調で、総じては前年をやや上回った。食料品は、節分などのイベント需要は好調に推

移したが、米や野菜の高騰が続きメリハリ消費の動きが強まった。店頭価格の上昇で売上げは前年を上回った。

3月以降についても、物価上昇を背景とするメリハリ消費の強い傾向が続いている。また、インバウンドによる免税売上げの増加が続いている。

## 自動車販売



2月の自動車販売は、登録台数(含む軽)は前年比26.6%増の2,286台となった。

内訳をみると、普通車(3ナンバー)は876台で前年比9.9%増、中小型車・大衆車は462台で同49.5%増となり、登録車合計は1,338台で同21.0%増となった。また、軽自動車は948台で同35.4%増であった。

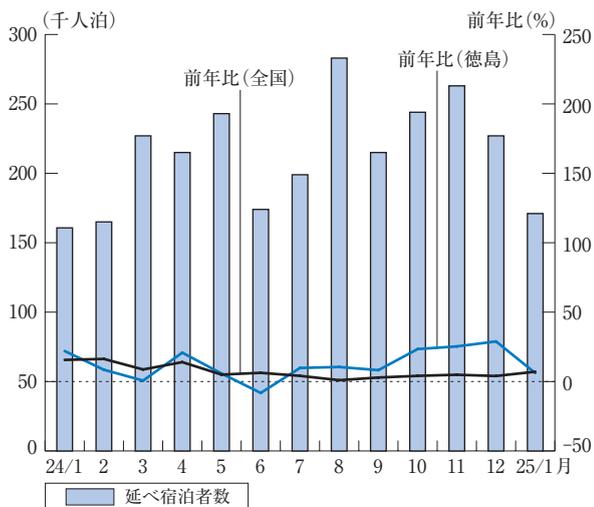
(2025年1～2月の登録台数(含む軽)累計は、前年同期比19.4%増の4,303台となった。)

## 旅行業

2月の旅行需要は、国内では関西方面への日帰り旅行や航空機をチャーターした旅行がみられた。旅行の回数や参加人数は以前より減少したが、物価上昇による単価の上昇で取扱高は前年を上回った。海外ではハネムーンやフォトウェディングのほか、徳島阿波おどり空港から韓国への旅行需要があり、取扱高は前年を上回った。国内・海外を合わせた個人旅行の取扱高は前年を上回って推移した。

3月以降は、国内ではMLB開幕戦観戦や芸能鑑賞のための旅行需要が増加しており、予約が前年より増えている。団体による万博視察の問い合わせも増加している。海外では直行便を利用した韓国への旅行予約に加え、ヨーロッパやクルーズ船への問い合わせが増加している。

ホテル・旅館



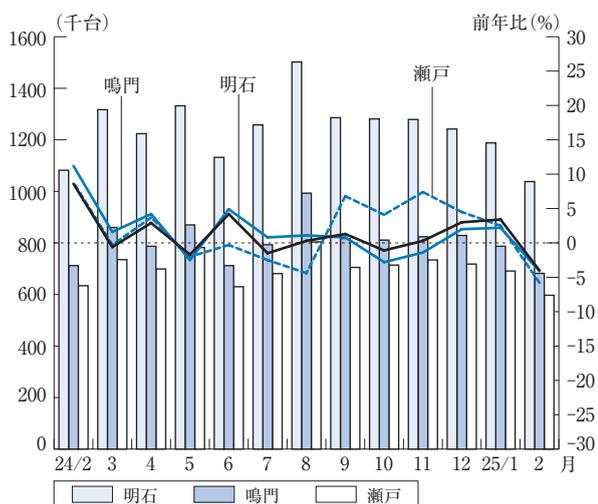
資料：国土交通省「宿泊旅行統計」(全宿泊施設)

2月の徳島市内の主要ホテル・旅館業は、定期便(香港、韓国)の影響でインバウンド需要が増加し、全体として前年を上回って推移した。大学受験やライブ実施に伴う需要もみられた。宴会・飲食部門は、送迎会需要が前倒しでみられたものの、コロナ禍前までは回復していない。

3月は、定期便就航によるインバウンド需要の増加が続いている。ビジネスや観光、とくしまマラソンによる需要もみられ、全体として前年を上回って推移している。

宿泊旅行統計【全宿泊施設】をみると、1月の徳島県の延べ宿泊者数(第2次速報)は171千人泊で、前年比6.1%増となった。

本州四国連絡道路交通量

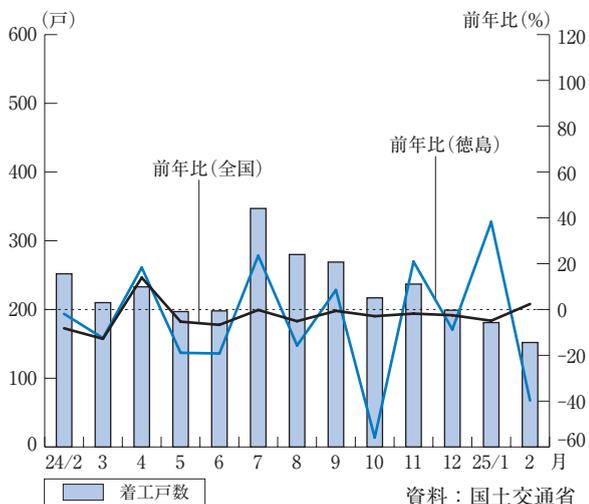


資料：本州四国連絡高速道路

2月の本州四国連絡道路の交通量をみると、明石海峡大橋は前年比4.0%減、大鳴門橋は同4.1%減、瀬戸大橋は同5.8%減となった。

(2024年4月～2025年2月の交通量累計は、明石海峡大橋、大鳴門橋、瀬戸大橋の順に、前年比0.6%増、0.4%増、1.1%増となった。)

住宅投資



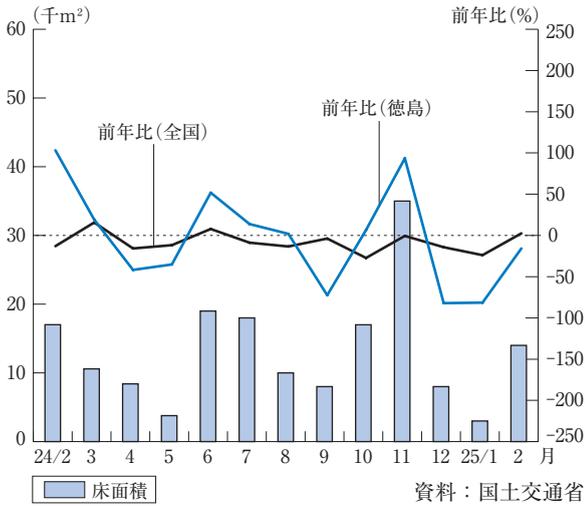
資料：国土交通省

2月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は前年比39.7%減の152戸となった。

利用関係別では、持家は前年比9.7%減の112戸、貸家は同81.8%減の20戸、分譲は同横ばいの18戸であった。総床面積は16,245㎡で、同14.5%減少した。

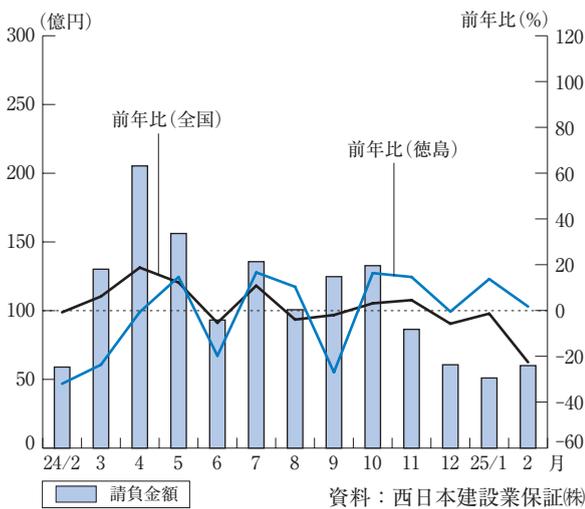
(2025年1～2月の総戸数累計は、前年同期比13.1%減の333戸となった。)

非居住用建築着工床面積



2月の非居住用建築着工床面積（店舗、工場等）は、前年比15.8%減の14,331㎡で、工事費予定額は同144%増の51億3百万円となった。

公共工事

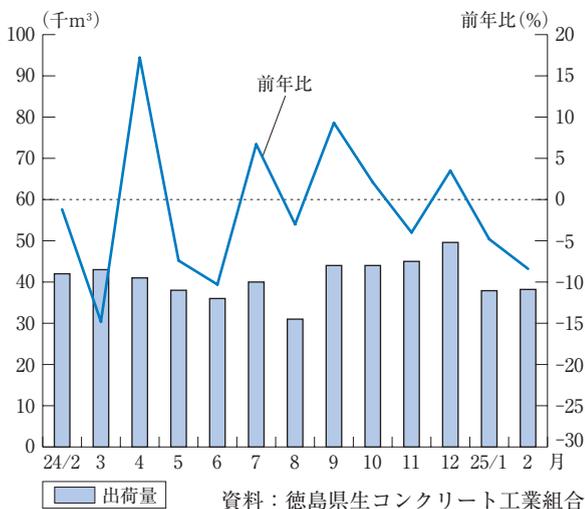


2月の公共工事（西日本建設業保証徳島支店調べ）をみると、請負件数は、前年比8.2%増の158件、請負金額は同1.8%増の60億3百万円となった。

発注者別にみると、「県」は40億71百万円で前年比85.6%増、「国」は10億20百万円で同58.5%減、「市町村」は8億63百万円で同23.3%減、「独立行政法人等」は17百万円で同85.1%減となった。

(2024年4月～2025年2月の請負金額累計は、前年同期比1.3%増の1,206億59百万円となった。)

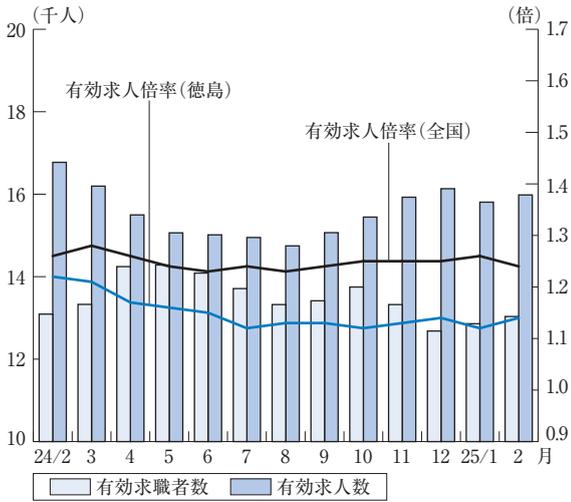
生コン出荷量



2月の生コン出荷量（徳島県生コンクリート工業組合出荷速報）は38千立方メートル、前年比8.4%減となった。

民需は5千立方メートルで前年比30.6%減、官公需は33千立方メートルで同3.4%減となった。

雇用関連 (求人)



資料：徳島労働局

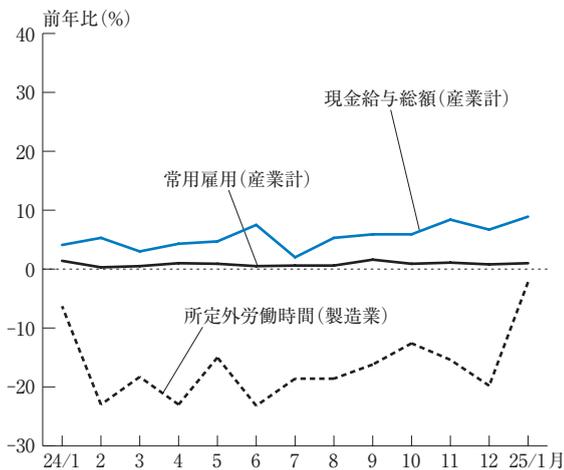
2月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.14倍で前月比0.02ポイント上昇。原数値は、1.23倍で前年比0.05ポイント低下。有効求人数は15,982人で前年比4.7%減少、有効求職者数は13,034人で同0.4%減少した。

新規求人数(一般。パートを除く)は3,421人で前年比0.4%増加、パートの新規求人は2,222人で同0.5%増加した。

内訳をみると、サービス業、製造業、教育・学習支援業などで増加し、卸売業・小売業、建設業、運輸業・郵便業などで減少した。

なお、雇用保険受給者実人員数は前年比0.19%減(2ヵ月連続)となった。

雇用関連 (勤労統計)

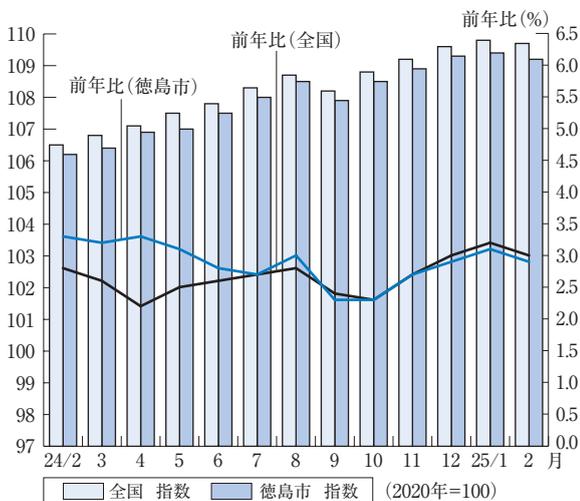


資料：徳島県統計課

1月の毎月勤労統計(5人以上の事業所)によれば、常用雇用指数(産業計)は105.1で前年比1.0%上昇、現金給与総額指数(産業計)は94.4で同8.9%上昇、所定外労働時間指数(製造業)は85.3で同2.2%低下となった。

(指数：2020年=100)

消費者物価指数 (徳島市)

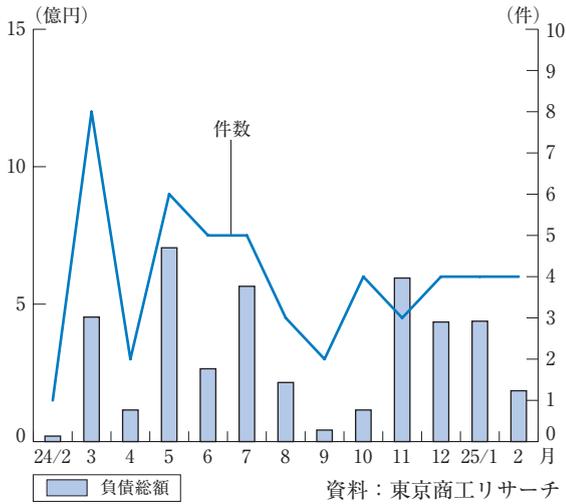


※「生鮮食品を除く総合」の数値をグラフ化  
資料：総務省

2月の消費者物価指数は、110.3で前年比3.7%上昇(前月比0.4%低下)、生鮮食品を除く総合は109.2で同2.9%上昇(同0.2%低下)であった。

費目別にみると、前年比上昇した科目費目は、食料(7.0%)、光熱・水道(4.9%)、家具・家事用品(3.6%)など。一方、低下した費目は教育(△0.6%)。(指数：2020年=100)

企業倒産

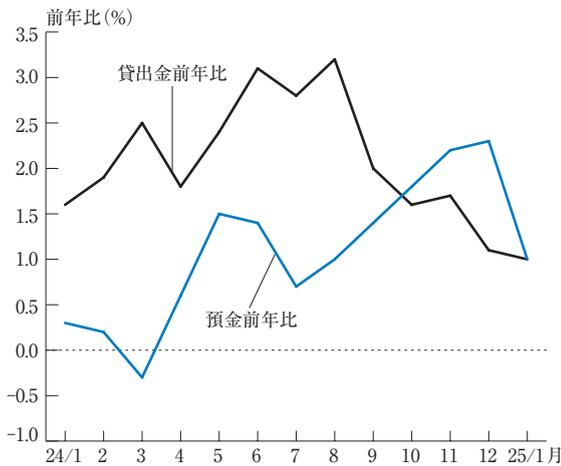


2月の企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）をみると、4件で負債総額は1億85百万円であった。業種別では、農・林・漁・鉱業、建設業、卸売業、情報通信業が各1件であった。

帝国データバンクの調査（負債総額1千万円以上、法的整理による倒産）では、5件で、負債総額は5億70百万円であった。

（2025年1～2月の負債総額累計（東京商工リサーチ調べ、負債総額1千万円以上）は、前年同月比592.2%増の6億23百万円、負債件数累計は4件増の8件となった。）

金融

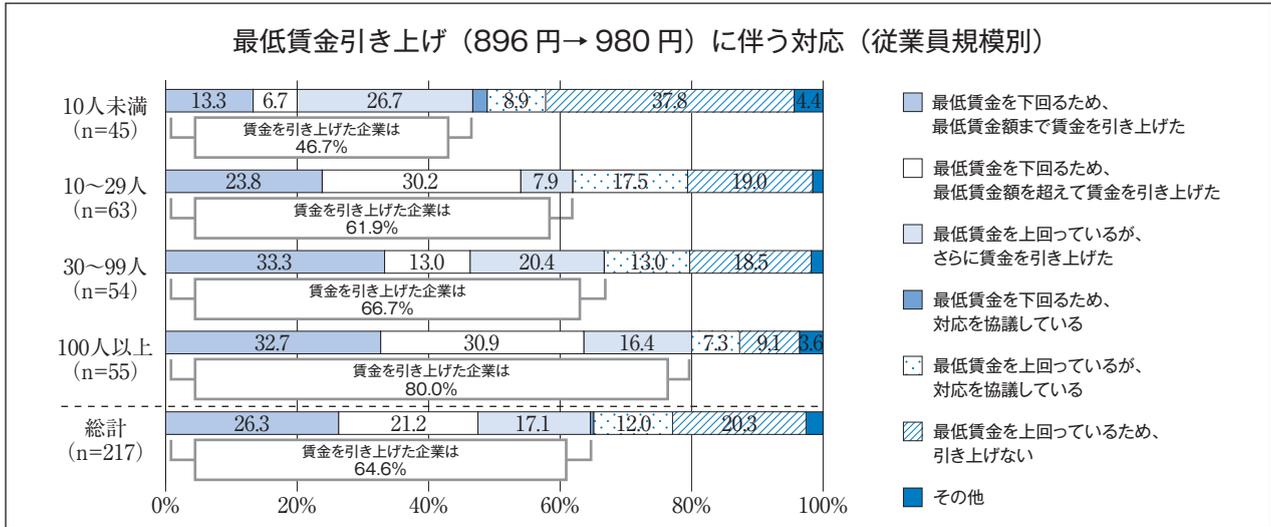


1月の民間金融機関貸出金残高は、日本銀行徳島事務所によると、全体では前年比1.0%増となり、115ヵ月連続で前年を上回った。（12月末の貸出約定平均金利1.114%→1月末1.125%、国内銀行ベース）。

預金については、前年比1.0%増となった。

※預金、貸出金の対前年増減率について、2021年4月以降は国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）の県内店舗および県内に本店を置く信用金庫の全店舗の合計額をもとに算出しており、2021年3月以前とは連続しない。資料：日本銀行

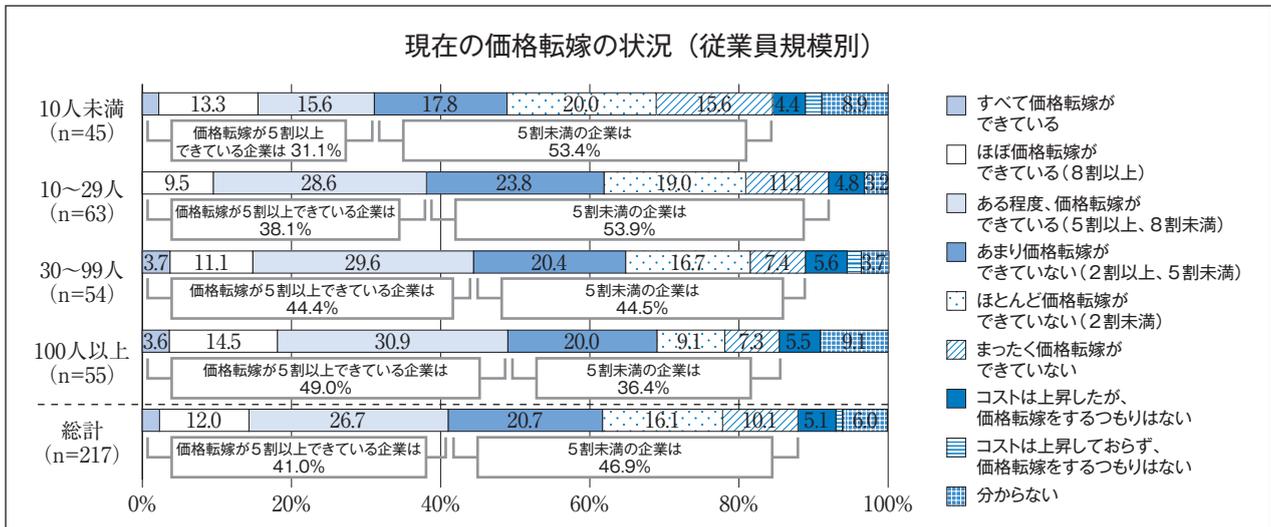
最低賃金引き上げ動向（徳島経済研究所調査）



最低賃金の引き上げ(896円→980円)に伴う対応を従業員規模別にみると、賃金を引き上げた企業割合が最も高かったのは「100人以上」の企業で、80.0%に達した。「10人未満」の企業は、賃金を引き上げた企業割合が46.7%と全階層で最も低かった一方、賃金改定前から最低賃金を上回っている企業割合(注)は73.4%と最も高かった。人員確保を目的とする賃上げが相次ぐなか、従業員規模が大きい企業ほど、最低賃金の改定額に沿う形で賃金を引き上げる傾向がみられた。

注)「最低賃金を上回っているが、さらに賃金を引き上げた」(26.7%)、「最低賃金を上回っているが、対応を協議している」(8.9%)、「最低賃金を上回っているため引き上げない」(37.8%)の合計。

価格転嫁の状況（同）



価格転嫁の状況を従業員規模別にみると、「価格転嫁が5割以上できている」企業割合が最も高かったのは「100人以上」の企業(49.0%)で、規模が小さくなるほど価格転嫁が進んでいない現状がみてとれる。

一方、どの規模においても、「すべて価格転嫁ができていない」「ほぼ価格転嫁ができていない(8割以上)」と回答した企業割合は低かった。価格転嫁の状況には差があるものの、いずれの企業規模においても、物価高によるコスト上昇分の一部を企業側が負担している状況がうかがえる。

(詳細は弊所ホームページの「県内企業の最低賃金引き上げ、価格転嫁状況に関する調査結果」参照)

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数 2020年=100													
	鉱工業総合		金属製品		はん用・生産用・業務用機械		電気機械		化学		プラスチック製品		パルプ・紙・紙加工品	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
	10000	%	wt.395.7	%	wt.473.5	%	wt.2153.6	%	wt.4332.7	%	wt.346.7	%	wt.577.7	%
2021年	106.7	6.7	81.1	△18.9	111.3	11.3	114.8	14.8	106.6	6.6	107.6	7.6	102.3	2.3
2022年	108.1	1.3	101.0	24.5	102.3	△8.1	105.8	△7.8	113.1	6.1	96.0	△10.8	106.4	4.0
2023年	104.3	△3.5	102.4	1.4	98.1	△4.1	96.1	△9.2	113.6	0.4	82.4	△14.2	102.2	△3.9
2024年	101.4	△2.8	72.4	△29.3	95.2	△3.0	85.5	△11.0	117.6	3.5	84.9	3.0	98.5	△3.6
2023.12	105.0	1.3	80.0	△14.5	102.7	7.6	92.0	△9.5	120.8	10.4	79.5	△16.0	110.9	5.5
2024.1	99.3	△0.9	71.0	△20.2	67.8	△12.4	83.9	△10.7	119.2	10.2	84.3	8.3	88.6	△14.9
2	100.1	0.3	76.8	△16.0	107.2	43.6	74.5	△23.9	121.4	11.7	79.7	△4.7	78.7	△18.3
3	102.0	△4.2	53.4	△27.6	132.9	34.9	77.3	△21.2	119.5	2.6	76.9	△15.5	102.3	△4.2
4	109.6	△0.4	57.6	△56.8	108.8	11.3	89.8	△7.9	129.1	8.9	81.1	3.3	103.4	2.5
5	111.8	8.6	121.9	11.3	95.4	4.5	87.6	△11.7	131.1	22.5	90.9	27.9	106.5	3.3
6	105.3	3.9	58.4	△25.5	86.4	△1.9	91.7	△9.2	127.2	21.4	84.2	1.4	82.7	△10.7
7	97.9	△3.2	80.1	△17.9	102.1	△28.9	90.7	△0.9	105.7	△3.0	89.2	12.7	102.4	3.6
8	92.0	△14.1	48.6	△73.8	61.7	△39.6	82.9	△12.9	104.2	△9.0	85.0	8.5	108.8	9.5
9	93.7	△10.3	54.4	△25.9	99.4	7.8	81.9	△13.6	103.5	△12.3	77.9	△3.7	103.1	△0.5
10	100.3	△3.3	82.0	2.9	97.0	22.0	85.3	△9.0	114.5	△2.8	93.3	△0.1	102.6	0.2
11	95.6	△9.7	110.1	△11.1	79.4	△36.8	84.0	△13.9	105.2	△7.7	81.8	△8.1	99.7	△4.9
12	106.6	2.1	75.3	△10.8	79.1	△21.5	92.3	2.1	126.8	5.0	92.4	18.9	97.9	△10.5
2025.1	100.3	1.0	80.2	13.0	111.7	64.8	76.9	△8.3	116.4	△2.3	91.3	8.3	92.6	4.5
2														
3														
資料出所	徳島県統計課													

(注) 鉱工業生産指数は季節調整済。前年比は原指数比較。年度は原指数。

摘要 年月	徳島県鉱工業生産指数						推計人口 (徳島県)		百貨店・スーパー販売額		専門量販店		コンビニエンスストア
	繊維		食品・飲料・飼料		木材・木製品		千人	人	百万円	%	ドラッグストア	ホームセンター	%
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比					前年比		
	wt.65.6	%	wt.620.1	%	wt.172.1	%	社会動態 (転入-転出)	前年比	前年比	前年比	前年比		
2021年	101.6	1.6	101.2	1.2	104.0	4.0	709.8	△8,350	86,659	△7.5	△0.7	△1.7	1.0
2022年	103.2	1.6	105.6	4.3	107.3	3.2	702.0	△7,824	90,124	4.0	5.8	0.6	2.6
2023年	104.2	1.0	103.7	△1.8	97.0	△9.6	693.1	△8,878	93,914	4.2	10.8	1.3	3.1
2024年	90.5	△13.1	91.5	△11.8	89.7	3.5	683.5	△9,585	95,929	2.1	6.8	1.8	0.8
2023.12	107.7	0.1	96.1	△7.7	96.6	△8.4	693.7	△630	9,522	0.5	9.3	△2.3	0.3
2024.1	98.8	△4.4	97.0	△8.3	87.4	△6.7	693.1	△655	7,878	0.9	8.5	△0.6	0.8
2	80.0	△21.0	95.0	△8.7	91.6	△3.4	692.1	△956	7,263	5.6	12.6	1.9	3.7
3	89.5	△16.4	89.5	△16.3	90.1	△15.4	691.1	△1,056	7,724	2.1	8.8	0.5	△0.9
4	70.9	△31.0	92.3	△4.0	83.1	△12.8	688.4	△2,699	7,496	0.2	5.0	△3.7	△1.1
5	80.1	△20.8	94.5	△9.5	83.5	△11.3	688.3	△30	7,773	△0.8	6.7	0.2	△0.6
6	83.9	△22.1	91.9	△21.4	86.0	△14.7	687.8	△581	7,668	3.6	8.2	5.2	0.8
7	90.0	△12.7	97.4	△3.3	88.8	△4.5	687.3	△508	8,023	0.2	3.1	0.4	1.2
8	91.7	△15.3	83.3	△18.9	89.5	△8.9	686.6	△639	8,792	5.3	11.5	11.9	2.1
9	104.7	0.4	84.4	△20.8	96.0	1.0	685.9	△747	7,641	1.7	3.7	0.9	△0.6
10	96.8	△0.9	82.8	△18.7	92.9	△4.1	685.4	△521	7,837	△0.8	4.3	△5.1	1.2
11	96.2	△8.0	93.5	△9.3	90.2	△6.0	684.8	△583	7,961	4.2	3.5	4.9	1.0
12	100.6	△5.2	96.6	3.1	93.4	△1.6	693.7	△630	9,873	3.7	7.3	6.1	2.2
2025.1	92.9	△5.9	97.4	0.4	89.9	2.9	683.5	△635	7,917	0.5	6.0	1.7	1.7
2							682.4	△1,071					
3							681.5	△962					
資料出所	徳島県統計課						四国経済産業局						

(注) 推計人口は、年次は各年1月1日、月次は各月1日時点の数値。

(注) 「百貨店・スーパー販売額」の対前年比増減率は、2020年3月から、調査先の見直しに伴いギャップを調整するリンク係数で処理した数値で算出。

摘要 年月	新車登録車数		新車届出車数		新設住宅着工					公共工事保証請負		
	乗用車 台	前年比 %	軽乗用車 台	前年比 %	総数		持家	貸家	総面積 m <sup>2</sup>	件数 件	金額 百万円	前年比 %
					総戸数 戸	前年比 %	前年比 %	前年比 %				
	台	%	台	%	戸	%	%	%	件	百万円	%	
2021年	13,223	△ 5.5	9,406	△ 5.9	3,044	△ 14.4	△ 1.1	△ 24.4	310,436	3,706	137,201	△ 7.3
2022年	11,916	△ 9.9	8,456	△ 10.1	2,718	△ 10.7	△ 9.9	△ 23.2	276,130	3,507	132,768	△ 3.2
2023年	14,634	22.8	9,701	14.7	3,108	14.3	△ 5.6	64.7	278,671	3,411	132,104	△ 0.5
2024年	13,765	△ 5.9	8,618	△ 11.2	2,770	△ 10.9	△ 3.1	△ 23.4	260,853			
2023.12	1,102	5.3	714	△ 1.1	218	△ 18.4	△ 2.1	17.0	24,000	231	6,087	△ 14.3
2024.1	1,129	△ 7.5	668	△ 25.6	131	△ 17.6	△ 16.9	△ 26.3	13,538	147	4,483	△ 15.9
2	1,106	△ 15.0	700	△ 28.5	252	△ 1.9	△ 3.1	7.8	19,005	146	5,895	△ 31.9
3	1,458	△ 17.2	790	△ 24.3	210	△ 12.5	△ 22.0	138.7	18,657	240	13,017	△ 23.6
4	1,002	△ 9.5	515	△ 30.0	233	18.3	△ 21.0	188.2	21,515	437	20,531	△ 0.6
5	929	△ 6.6	594	△ 10.5	197	△ 18.9	△ 16.3	△ 18.7	18,743	237	15,614	14.7
6	1,043	△ 17.2	770	1.2	198	△ 19.2	△ 8.6	△ 49.2	20,409	280	9,317	△ 19.7
7	1,263	△ 1.1	733	△ 3.0	347	23.5	△ 0.6	△ 45.7	32,335	400	13,565	16.7
8	978	△ 4.6	649	0.9	280	△ 15.7	△ 1.3	△ 33.8	26,779	346	10,070	10.4
9	1,287	8.6	878	△ 0.8	269	8.5	22.6	△ 10.8	25,706	354	12,476	△ 26.9
10	1,297	10.8	774	△ 3.9	217	△ 55.9	5.0	△ 78.6	21,436	338	13,274	16.4
11	1,268	3.1	848	3.8	237	20.9	40.2	7.5	22,691	274	8,642	14.7
12	1,005	△ 8.8	699	△ 2.1	199	△ 8.7	△ 4.9	△ 47.3	20,039	212	6,065	△ 0.4
2025.1	1,250	10.7	767	14.8	181	38.2	13.6	207.1	18,798	122	5,102	13.8
2	1,338	21.0	948	35.4	152	△ 39.7	△ 9.7	△ 81.8	16,245	158	6,003	1.8
3												
資料出所	自動車販売店協会		軽自動車協会		国土交通省					西日本建設保証(株)		

(注) 公共工事保証は年度。

摘要 年月	消費者物価指数 (総合、徳島市)		家計消費支出(勤労者) (徳島市)		小売物価		雇用市場					
	生鮮食品を 除く総合	前年比 %	消費支出 円	前年比 %	ガソリン(徳島市)		有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率	
					価格	前年比	人	前年比	人	前年比	倍	前年比
	2020年=100	%	円	%	(円/L)	%	人	%	人	%	倍	ポイント
2021年	99.9	△ 0.1	346,633	12.0	149.0	16.4	12,614	△ 0.6	15,501	10.2	1.23	0.12
2022年	101.8	1.8	308,936	△ 10.9	168.0	12.8	12,966	2.8	16,343	5.4	1.26	0.03
2023年	104.6	2.8	322,417	4.4	168.0	0.0	13,184	1.7	15,831	△ 3.1	1.20	△ 0.06
2024年	107.6	2.8	318,426	△ 1.2								
2023.12	106.3	2.9	300,769	△ 20.7	171.0	6.2	12,382	4.4	16,090	△ 4.0	1.17	△ 0.11
2024.1	106.2	2.6	268,410	△ 17.9	169.0	2.4	12,630	1.6	16,441	△ 1.0	1.22	△ 0.04
2	106.2	3.3	275,360	△ 38.9	166.0	3.8	13,092	2.2	16,773	1.7	1.22	△ 0.01
3	106.4	3.2	297,752	1.6	168.0	5.0	13,328	△ 1.7	16,196	△ 2.4	1.21	0.00
4	106.9	3.3	341,615	11.9	173.0	3.6	14,244	3.3	15,498	△ 2.6	1.17	△ 0.06
5	107.0	3.1	369,119	△ 2.1	173.0	6.8	14,283	4.1	15,063	△ 1.4	1.16	△ 0.06
6	107.5	2.8	262,364	1.8	173.0	4.8	14,087	3.8	15,014	△ 2.1	1.15	△ 0.06
7	108.0	2.7	353,263	30.5	175.0	3.6	13,711	4.9	14,950	△ 2.7	1.12	△ 0.08
8	108.5	3.0	329,299	8.9	174.0	△ 3.9	13,323	1.4	14,747	△ 2.9	1.13	△ 0.05
9	107.9	2.3	308,862	△ 22.0	172.0	△ 4.4	13,415	1.8	15,067	△ 2.8	1.13	△ 0.06
10	108.5	2.3	340,166	6.5	171.0	△ 1.2	13,749	3.5	15,445	△ 2.4	1.12	△ 0.07
11	108.9	2.7	317,303	17.8	170.0	0.6	13,323	2.7	15,927	△ 0.7	1.13	△ 0.04
12	109.3	2.9	357,596	18.9	172.0	0.6	12,682	2.4	16,133	0.3	1.14	△ 0.03
2025.1	109.4	3.1	320,194	19.3	178.0	5.3	12,859	1.8	15,807	△ 3.9	1.12	△ 0.07
2	109.2	2.9			183.0	10.2	13,034	△ 0.4	15,982	△ 4.7	1.14	△ 0.05
3												
資料出所	総務省					徳島労働局職業安定課						

(注) 家計消費支出は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の一世帯あたり平均。

(注) 有効求職者数、有効求人数、有効求人倍率は年度平均。

(注) 有効求人倍率は季節調整値、同前年比は原指数による。

摘要 年月	常用雇用指数 (産業計)		所定外労働時間指数 (製造業)		現金給与総額指数 (産業計)		延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		外国人延べ宿泊者数 (全宿泊施設)		本州四国連絡 道路交通量	
	2020年 =100	前年比 %	2020年 =100	前年比 %	2020年 =100	前年比 %	千人泊	前年比	千人泊	前年比	大鳴門橋 千台	前年比 %
2021年	102.8	2.8	115.8	15.8	104.3	4.3	1,599.6	10.4	9.6	△ 51.9	7,364	8.7
2022年	102.0	△ 0.8	119.7	3.4	100.9	△ 3.3	1,842.2	15.2	18.1	88.4	8,930	21.3
2023年	104.2	2.2	106.0	△ 11.4	102.1	1.2	2,259.0	22.6	129.3	612.8	9,730	9.0
2024年	104.9	0.8	86.1	△ 18.2	109.2	5.4	2,615.7	11.9	180.5	39.6		
2023.12	105.3	2.5	113.8	△ 0.8	194.3	0.8	171.4	13.5	8.5	97.2	813	7.7
2024.1	105.0	1.4	94.5	△ 6.3	85.8	4.1	160.7	22.0	6.4	66.1	770	9.8
2	103.7	0.3	86.2	△ 23.0	87.3	5.3	165.4	8.5	8.8	104.2	712	11.2
3	103.3	0.5	94.5	△ 18.3	89.9	3.0	226.7	0.7	19.6	59.4	860	1.6
4	104.3	1.0	89.0	△ 23.0	89.9	4.3	215.1	20.8	16.9	12.2	787	4.2
5	104.6	0.9	82.6	△ 15.0	89.5	4.7	242.8	5.8	16.7	55.9	870	△ 2.5
6	104.6	0.5	78.9	△ 23.2	153.9	7.5	174.2	△ 8.2	11.1	37.5	712	4.9
7	105.5	0.6	84.4	△ 18.6	128.9	2.0	199.0	9.8	17.0	55.6	793	0.8
8	105.2	0.6	80.7	△ 18.6	93.5	5.3	283.4	10.5	13.8	22.3	923	1.1
9	105.7	1.6	80.7	△ 16.2	91.7	5.9	214.7	8.2	12.5	18.1	817	0.8
10	105.6	0.9	89.0	△ 12.6	91.3	5.9	243.8	23.4	19.5	16.2	811	△ 2.8
11	105.8	1.1	90.8	△ 15.4	95.3	8.4	263.3	25.3	22.6	33.0	824	△ 1.4
12	106.0	0.8	89.0	△ 19.8	212.3	6.7	226.6	28.9	15.6	83.6	829	2.0
2025.1	105.1	1.0	85.3	△ 2.2	94.4	8.9	170.6	6.1	14.2	123.4	787	2.2
2											682	△ 4.1
3												

資料出所 徳島県統計課 国土交通省 本州四国連絡高速道路

- (注) 常用雇用は、5人以上の事業所。
- (注) 所定外労働時間、現金給与総額は、5人以上の事業所。
- (注) 延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数は、2022.12までは確定値、2023.1以降は第2次速報値。
- (注) 本州四国連絡道路交通量は年度。

摘要 年月	航空輸送状況 (国内線)				金融関連			企業倒産			信用保証協会代位弁済		
	旅客		貨物		実質預金	貸出金	貸出約定 平均金利	件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	旅客数 人	前年比 %	貨物量 トン	前年比 %	前年比 %	前年比 %	前年比 年利%	件	百万円	%	件	百万円	%
2021年	397,599	53.0	841	12.7	3.2	2.7	1.116	27	6,214	△ 43.3	133	1,472	△ 33.5
2022年	839,629	111.2	972	15.4	0.5	2.2	1.074	32	7,344	18.2	137	934	63.4
2023年	1,054,468	25.6	1,080	11.2	0.1	1.5	1.040	37	3,278	△ 55.4	190	1,662	78.1
2024年					2.3	1.1	1.114	46	3,595	9.7			
2023.12	88,117	7.8	100	△ 4.4	0.1	1.5	1.040	3	70	600.0	9	83	8.3
2024.1	72,073	9.6	69	△ 14.7	0.3	1.6	1.039	3	70	△ 85.7	7	38	△ 9.2
2	77,814	12.5	80	31.3	0.2	1.9	1.035	1	20	△ 93.3	27	264	562.6
3	95,705	5.3	83	19.4	△ 0.3	2.5	1.040	8	453	466.3	19	144	151.5
4	75,802	3.4	84	△ 15.6	0.6	1.8	1.041	2	115	△ 17.9	27	244	445.5
5	89,052	△ 8.1	68	△ 3.1	1.5	2.4	1.040	6	705	16.5	28	222	145.3
6	80,217	△ 12.6	81	△ 20.4	1.4	3.1	1.041	5	265	307.7	32	249	△ 12.6
7	84,667	3.2	105	△ 4.5	0.7	2.8	1.042	5	565	68.2	26	171	△ 30.6
8	100,409	△ 4.4	86	△ 27.3	1.0	3.2	1.049	3	215	437.5	23	166	△ 14.2
9	87,300	7.8	85	△ 4.5	1.4	2.0	1.063	2	42	△ 94.2	34	261	540.7
10	94,275	3.7	82	6.7	1.8	1.6	1.078	4	115	△ 60.8	24	170	56.6
11	95,947	△ 3.9	112	35.3	2.2	1.7	1.102	3	595	357.7	21	215	74.7
12	91,319	3.6	140	40.2	2.3	1.1	1.114	4	435	521.4	33	347	316.9
2025.1	86,175	19.6	109	57.2	1.0	1.0	1.125	4	438	525.7	20	181	373.1
2								4	185	825.0	27	133	△ 49.6
3													

資料出所 国土交通省 大阪航空局 日本銀行 東京商工リサーチ 徳島県信用保証協会

- (注) 航空輸送状況は年度。2021.3までは確定値、2022.4以降は速報値。
- (注) 実質預金(資金化していない手形、小切手等を差引いたもの)・貸出金残高の2021年4月以降の計数は、国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の県内店舗および県内に本店を置く信用金庫の全店舗の合計額。
- (注) 実質預金、貸出金残高及び貸出約定平均金利は、年・月末。
- (注) 貸出約定平均金利は、県内に本店を置く地域銀行および信用金庫の全店舗を対象とした貸出約定平均金利を集計したもの。2020年1月の徳島大正銀行の発足に伴い、徳島県の2020年1月以降の計数は、2019年12月以前とは連続しない。
- (注) 保証協会代位弁済は年度。